

ウェゲナー祭

京都大学理学部・理学研究科
地球惑星科学系 オープンラボ

開催日：2022年6月10日(金)

● 第1部 @ 理学部1号館517号室

16:45-16:50 開会の挨拶

16:50-17:15 特別講演：院生が語る地球惑星科学
今村春香（地球物理D1）
梶田侑弥（地質鉱物D2）

● 第2部 @ 各研究室ブース

17:15-19:30 オープンラボ

(詳細はこのチラシの表裏をご覧ください)

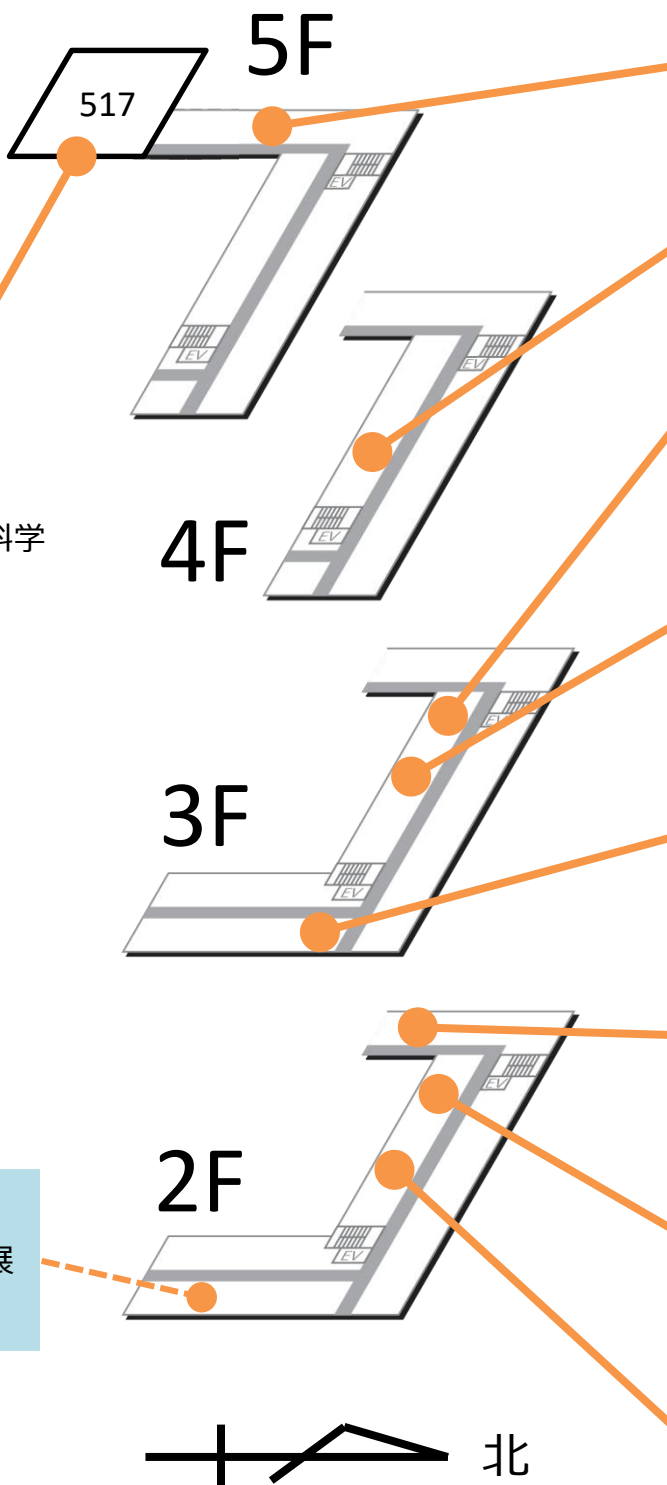
● 第3部 @ 理学部1号館517号室

19:00-19:40 若手研究者座談会

19:40-19:45 閉会の挨拶

このページは地球物理学関係の研究室紹介です。
2階～地下1階では地質学鉱物学関係の研究室も展示を行っていますので、ぜひご覧ください。

次のページへ



◆ T1 電磁気圏
太陽惑星系電磁気学：「研究室紹介」@ 541号室
太陽系・惑星系・地球を電磁気学的に研究している本研究室を紹介します。
17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ 地球熱学研究施設 (T2 大気圏・水圏 と T3 固体圏 の一部)
「施設紹介」@ 455 号室
地球熱学研究施設で行なっている研究を紹介します。
17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ T2 大気圏・水圏
海洋物理学：「研究室紹介」@ 347号室
海洋物理学研究室で行っている研究を紹介します。
17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ T2 大気圏・水圏
気象学：「回転水槽実験と、よろず相談」@ 351号室
回転が流体運動に与える影響をみてみよう。併せて進学などの相談にも応じます。
17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ T2 大気圏・水圏
物理気候学：「VRで見る衛星降水レーダ観測データ」@ 366号室
衛星降水レーダの観測データが可視化されたバーチャル空間で自由に(?) 飛び回りましょう！
17:15~19:00でオンライン対応予定

◆ T3 固体圏
活構造学：「大地の変動を見る」@ 239・241号室
地殻変動やマントル流動のしくみについて展示しています。
17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ T3 固体圏
測地学：「研究室紹介」@ 250号室
測地学は、地球の形やその時間変化を計測する学問です。今回は測地学的観測でどのような現象が見えるのかをご紹介します。
YouTubeにて関連動画を視聴できます

◆ T3 固体圏
地震学：「研究室紹介」@ 253号室
地震学研究室における研究や活動、生活などをご紹介します。
17:30~19:15でオンライン対応予定





● オンライン参加の皆さまへ


Zoom接続先は前日までにメールでお知らせいたします。


Zoomでは第1部 (講演) と第3部 (座談会) を視聴できます。

各研究室では以下のオンライン対応を実施します。

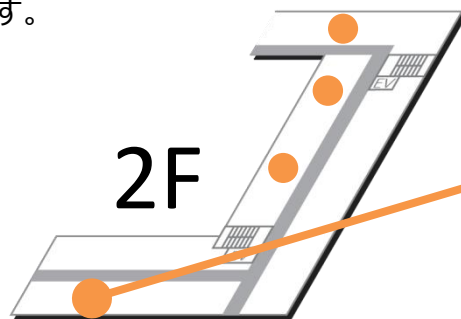
 Zoomブレイクアウトルームを視聴できます


 YouTubeにて関連動画を視聴できます


 後日個別対応可能ですので、
別途メールでご連絡ください

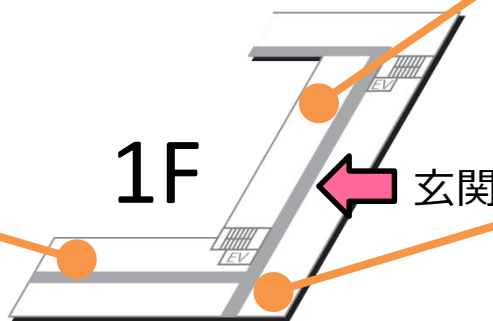
前のページへ 


このページは地質学鉱物学関係の研究室紹介です。2階～5階では地球物理学関係の研究室も展示を行っていますので、ぜひご覧ください。





◆ T11 地球テクトニクス
「放射年代と同位体分析を用いた地球変動研究の紹介」@ 278
* 鍾乳石と樹木年輪から探る地球の気候変遷 (試料に触れてみよう)
* ホットスポット火山活動 (映像&石) と島弧山地隆起史復元 (マップ)
 オンラインの方には後日個別対応いたします

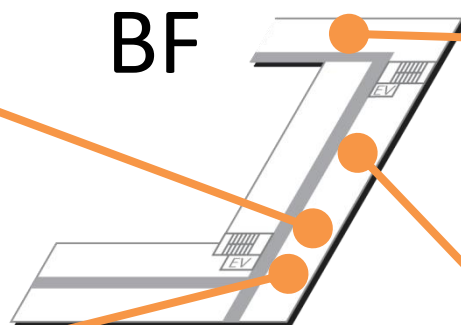
◆ T16 宇宙地球化学
「地球外物質を用いた最先端宇宙化学的研究の紹介」@ 147
隕石の顕微鏡写真観察や最先端表面分析装置の紹介のほか、はやぶさ2やはやぶさなどのリターンサンプルの宇宙化学に関する研究の紹介を行います。
 18:00頃~19:30でオンライン対応予定





◆ T15 地史
「断層や褶曲が語る地史—地球・月—」@ 165
断層や褶曲から、歴史時代を遙かにさかのぼって、数百万年、数十億年前のテクトニクスに関する情報を抽出することができます。そうした研究の一端を紹介します。
 17:15~19:30でオンライン対応予定


◆ T14 地層
「化石に触れよう。化石から考えよう。」@ 172
化石は、過去地球に生息した絶滅生物の多様性を知る唯一の物的証拠です。まずはいろいろ、生物 (今生きているものも、絶滅したものも) の形を楽しんで下さい。そしてもう一つ、「地層の中にある化石」から、その生物の“生き様”と“死に様”を考えてみましょう。地層は時に、遠い過去の生物の「瞬間」を映しとどめているのです。
 17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ T13 鉱物
「ナノ・マイクロから見る地球・宇宙物質」@ 063
地球や地球外物質に含まれる鉱物のもつナノ・マイクロの微細構造は、生成やその後の様々な変遷に関する情報をもっています。このような情報に引き出すか、イオンビーム微細加工装置や分析電子顕微鏡をはじめとする装置などを通じて、研究を紹介します。
 17:15~19:30でオンライン対応予定



◆ T14 地層
「水路実験からわかる地球表層プロセス」@ 044
地球表層では流体と土砂 (粒状物質) の相互作用によって地形が変化し続けています。この部屋では、水路実験により、地形が自発的に形成され移動する様子を観察します。
 17:15~19:30でオンライン対応予定

◆ T11 地球テクトニクス
「変形実験装置見学」@ 064
地下深部の高圧条件下での岩石変形や、地震時の断層すべりを再現することを目的として設計・製作した京大オリジナルの実験装置を紹介します。
 18:00~19:00でオンライン対応予定

◆ T12 岩石
「岩石から探るプレート収束帯深部の姿」@ 056
南極やアルプス・ヒマラヤなど世界各地のプレート収束域から岩石試料を持ち帰り、地下深部で起きている物質科学的諸プロセスやプレート収束域のテクトニクスを読み解く研究を行っています。岩石試料の展示・偏光顕微鏡薄片観察体験・実験装置の紹介を通して、研究内容の紹介を行います。
 17:15~18:00でオンライン対応予定

